

夢や希望がかなうまち

地域で生活するさまざまな人たちの問題を、地域の住民や団体などが「我が事」として考え方をするとともに、医療・介護・福祉などの多様な機関を分野を越えて「丸ごと」つなげていく取り組みなどによる

地域共生社会

次世代産業の集積・育成や起業などを支援するとともに、大谷やプロスポーツなどの地域資源を最大限に活用し、市内の人・モノ・情報が交流することで生まれる

地域経済循環社会

「スマートシティ」の実現は世界共通の目標であるSDGsの達成にも寄与します

ネットワーク型コンパクトシティ
NCC
持続可能なまちの土台

デジタル技術は、そんなまちや人のつながりをより一層強くして、そして、生活を豊かで便利にするものとして、上手にしつかり使っていくんだよ。

「スーパースマートシティ」は、人もモノも、みんながつながる元気なまちなんだね！ 最初に聞いた時には、もっと難しくて、自分たちから遠い世界の話なのかと思っちゃった。でも、実際に宇都宮市に住んでいる人の生活がどう変わっていくのかが気になるな。

そうだよね。じゃあ、上のイラストにあるような取り組みがもつともっと進められるようなるかイメージしやすいように、年齢や性別、世帯構成、住んでいる場所（居住区分）などについて、実際に宇都宮市に住む人などに近づけた「4つの市民モデル」とに、その人たちの「[ち]ょとと未来」の生活がどのように変わるのがをマンガにしてみたよ。

みんなの夢や希望がかなう輝いたまち「スーパースマートシティ」の姿をミヤリード一緒に見てみよう！

「スーパスマートシティ」

子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすために

「スーパースマートシティ」は、100年先も発展し続けるまちの姿「NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）」を土台に、「地域共生社会（社会）」「地域経済循環社会（経済）」「脱炭素社会（環境）」の3つの社会が、「人」づくりの取り組みや「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまわ」です。

宇都宮市は、SDGsの達成にも貢献できる、2030年「へのまちの姿として、「スーパースマートシティ」を目指しています。

「スマートシティ」は聞いたことがありますか？
「スマートシティ」が付くといふなるの？もつ
と最初端のデジタル技術をたくさん使つてこと？
「スマートマートシティ」に
つづいて、詳しく述べて…

それじゃ、上のイラストを
見てみて。「[ZICO]」の上
に、「地域共生社会」「地域経済循
環社会」「脱炭素社会」の3つの
社会がつくられているのが「スー
パー・マート・シティ」なんだ。
まず、「[ZICO]」は「ンバワト
なまちが公共交通でつながった、
みんながいつまでも暮らしやすい
「まちの土台」」のようなもの。そ
の「のりかでした土台の下」、子
どもから高齢者まで、みんなが絆
を深めて、誰もが誰かを支える人
になれる「地域共生社会」になっ
ているんだ。そして、女性や若者
など、いろいろな人が生き生き
と活躍したり、いろいろな産業が
集まつてくることで、モノやお金
が地域の中でじっかりと回る「地
域経済循環社会」がつくれたりす
るんだ。「スマートマートシティ」
はそんな素敵なものなんだよ！